

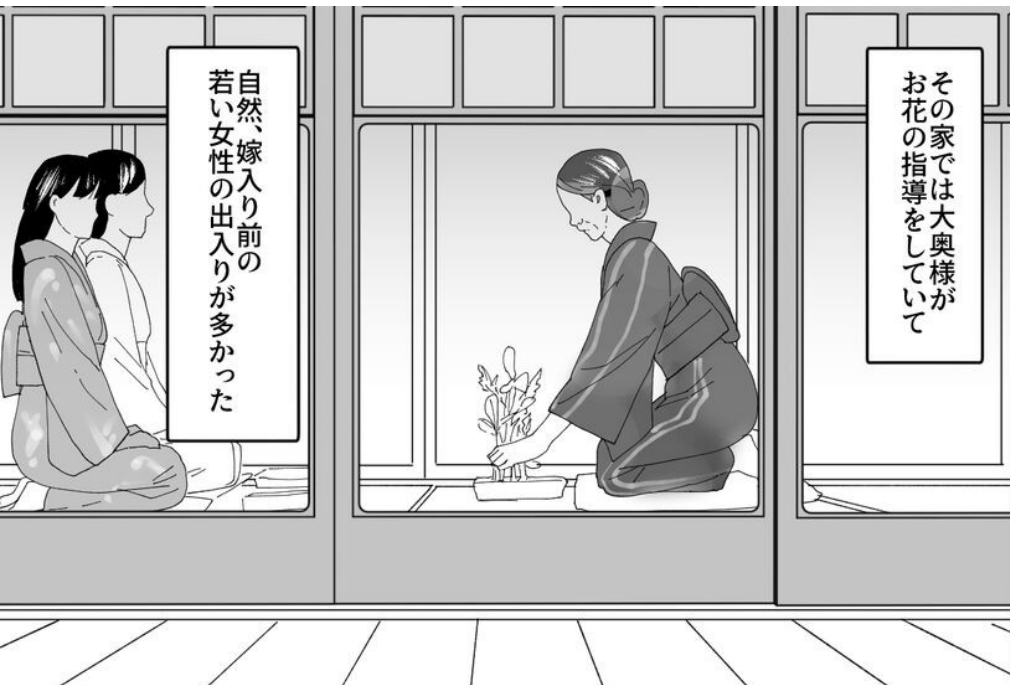


今となつては昔
昭和の頃

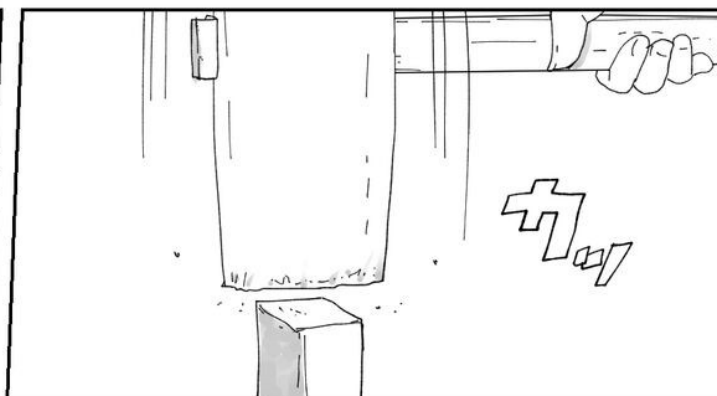
若い時ある大きな家の
下働きとして
働いていた事がある

その家では大奥様が
お花の指導をしていて

自然、嫁入り前の
若い女性の出入りが多かった



奥様が
お呼びですよー



敷地に柵を作る作業
思つたより手間だな

ふー



この女性は富美子さん
主に大奥様の身の回りの世話
をする仕事をしていた

武田さん

あ
富美子さん



とても可愛い女性で
事あるごとに私を気にかけて
くれる

お疲れ様です
毎日大変ですね

奥様は
なんの御用でしょうか

さあ……
分かりませんが
なにか急いでらっしゃる
ようでしたよ

富美子さんの大きな尻が
ぶりぶりと揺れる……
たまらない

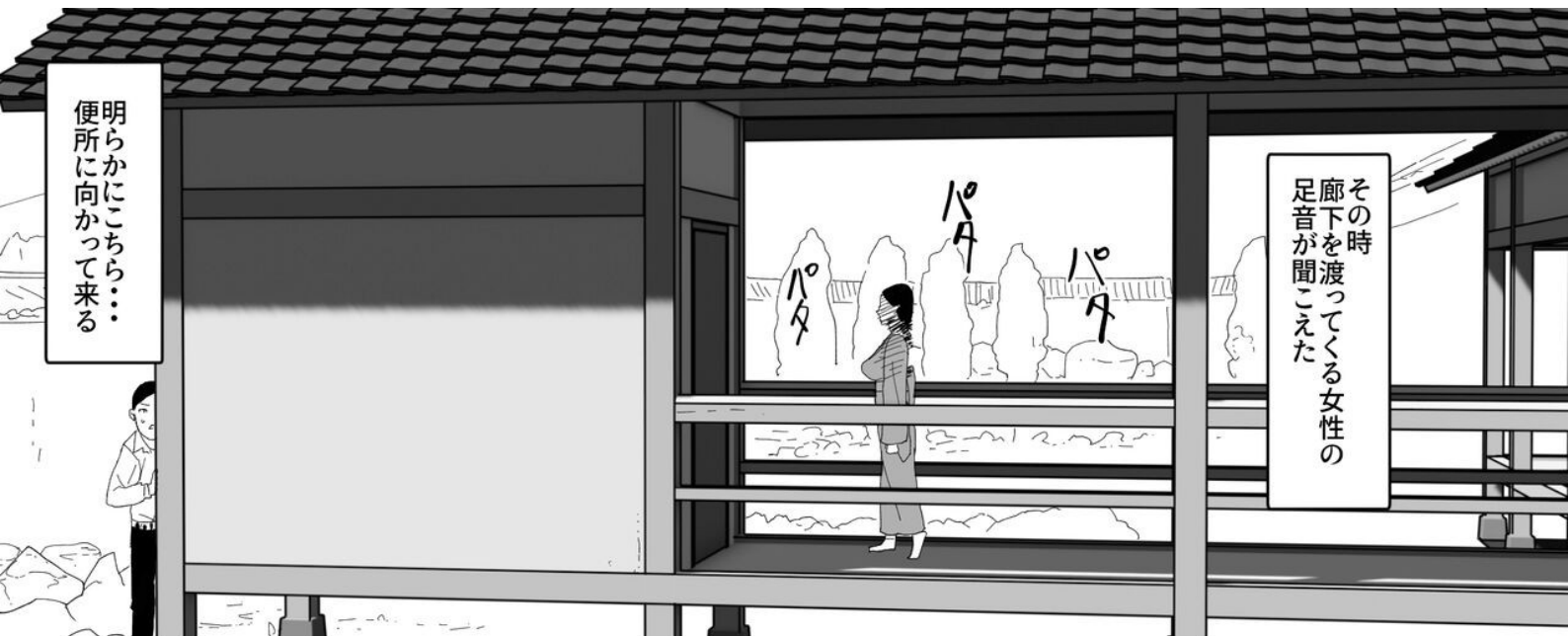
奥様に汲み取りが
来ているから対応しろと
言われた

しかし便所には
誰もおらず
入れ違いになたようだ

好き……というほどではないが
なんとなく思いを
寄せている女性だ

その時
少し空いた
汲取口を見て
邪な考えがよぎった

中に潜めば
女の股間が
拝めるかもしれないと



明らかにこちら…
便所に向かって来る

その時
廊下を渡ってくる女性の
足音が聞こえた



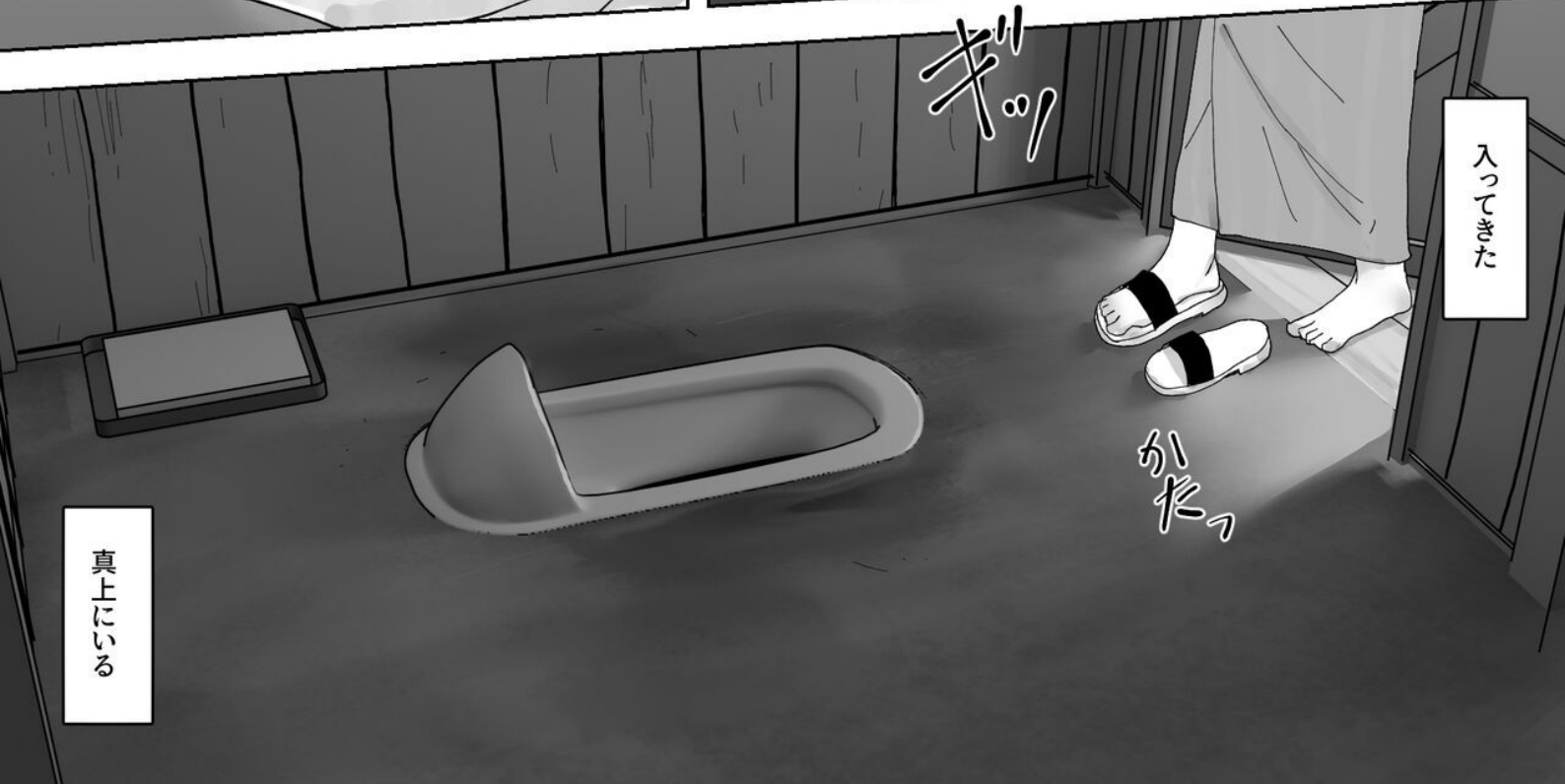
大きくなる女の足音
開く扉の音

ハッ
ハッ



くっさー！

考えるより先に
汲取口から
便所下に潜り込んでいた

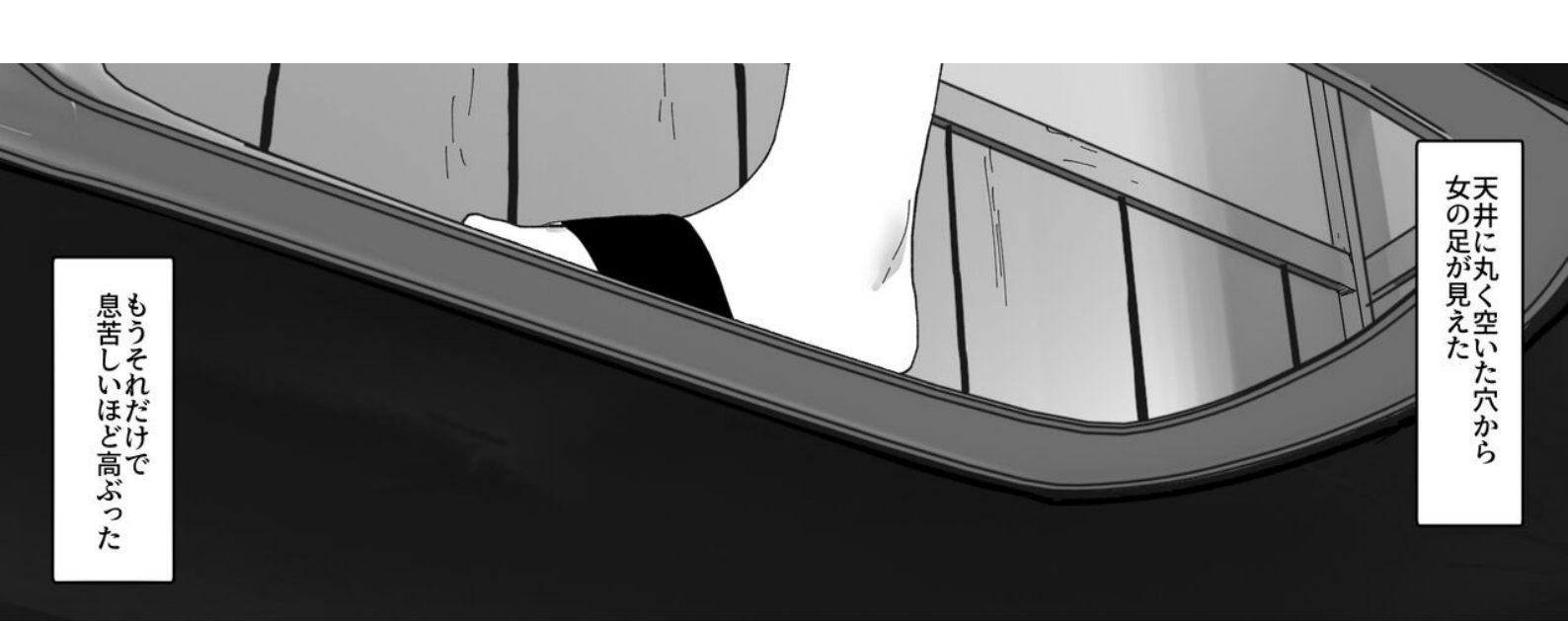


入ってきた

かたっ

ギッ

真上にいる



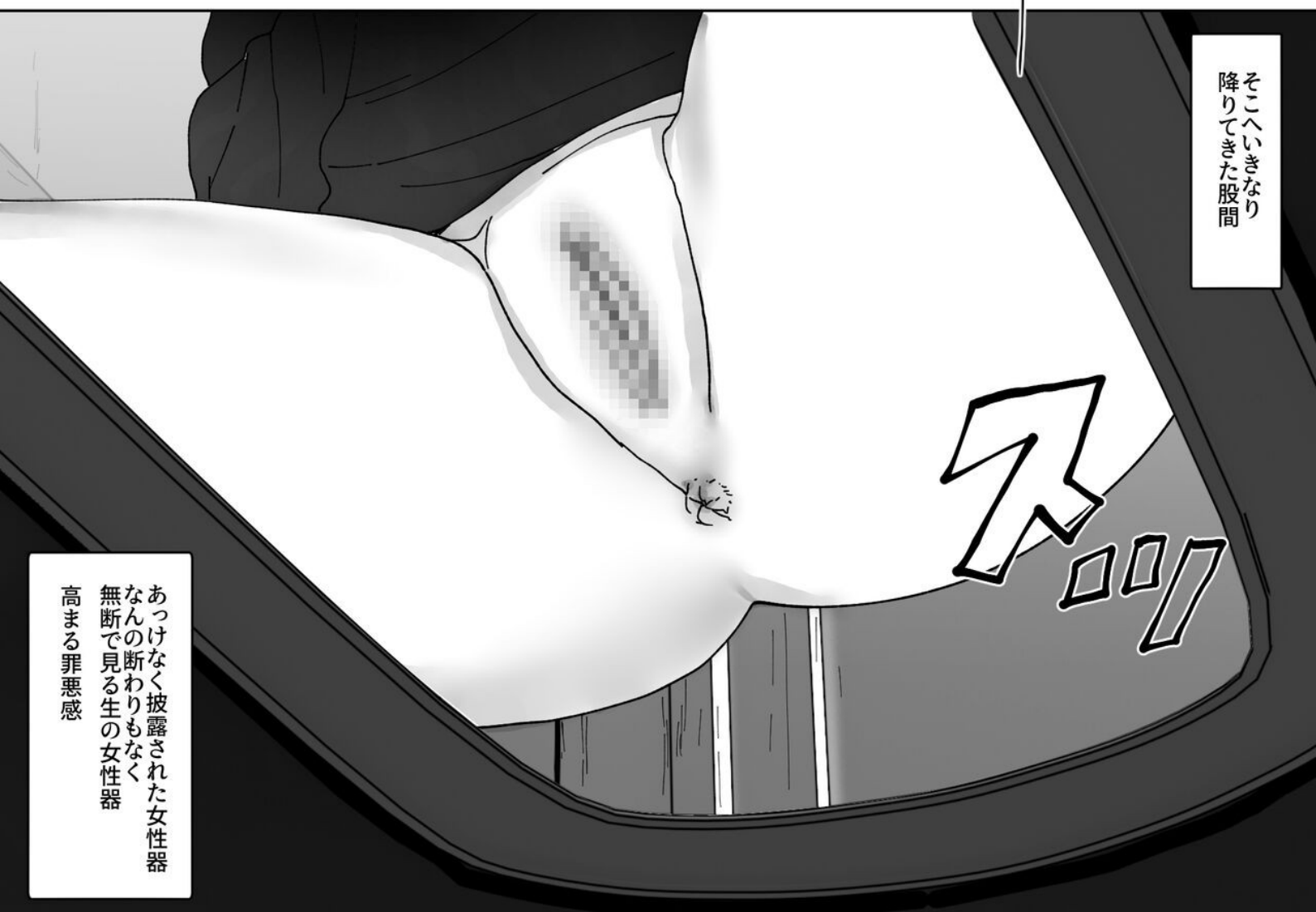
天井に丸く空いた穴から
女の足が見えた

もうそれだけで
息苦しいほど高ぶった



衣擦れの音

これからどうなるか
考えるまでもない



そこへいきなり
降りてきた股間

あっけなく披露された女性器
なんの断わりもなく
無断で見る生の女性器
高まる罪悪感

チヨロと音を立てて
女の股から液体がこぼれた

目の前で女が
下半身を露出して
排泄している

しょ 小便だ！

女は安心してきつて
放尿している

誰にも見せない
個室の秘密を私は
覗きという卑劣な手段で
目の前にしている

小便臭い！

蒸気とともに
しっかりと尿臭が
漂ってくる

この尿は
誰が出しているのだろうか

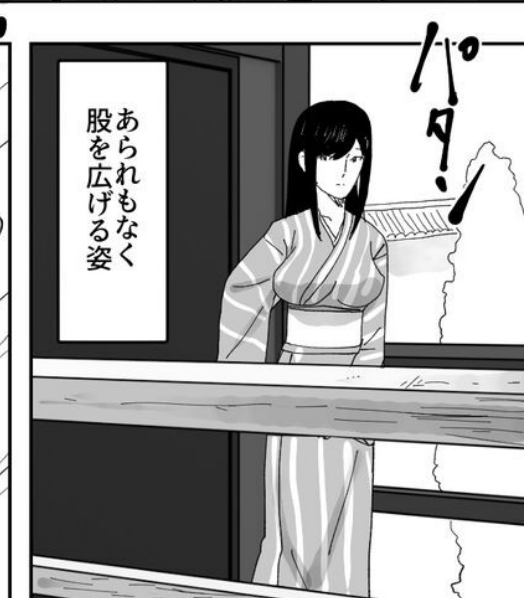
排泄の主を確かめたいが
下手に近づくと小便がかなりそうだった
なにより女に見つかるかもしれない

排泄物や不潔な匂いは
全く気にならないかった

初めてみる女性器と肛門は
ただただ輝いて
魅力的に見えた

夢中になるあまり
近づきすぎた

小便を浴びながら
一心不乱に女の股間を
凝視する



それ以来、
しばらく富美子さんの顔を
直視できなかった

と、富美子さん
……!

ビクッ

後ろめたかった

あら、武田さん

え、あの

し、失礼します

お花の師匠の大奥様と
近隣の女性たち

稽古終わりに
お茶を飲み
世間話などに
興じる時間がある

こんな時は
便所の利用が
頻繁になっ
たが

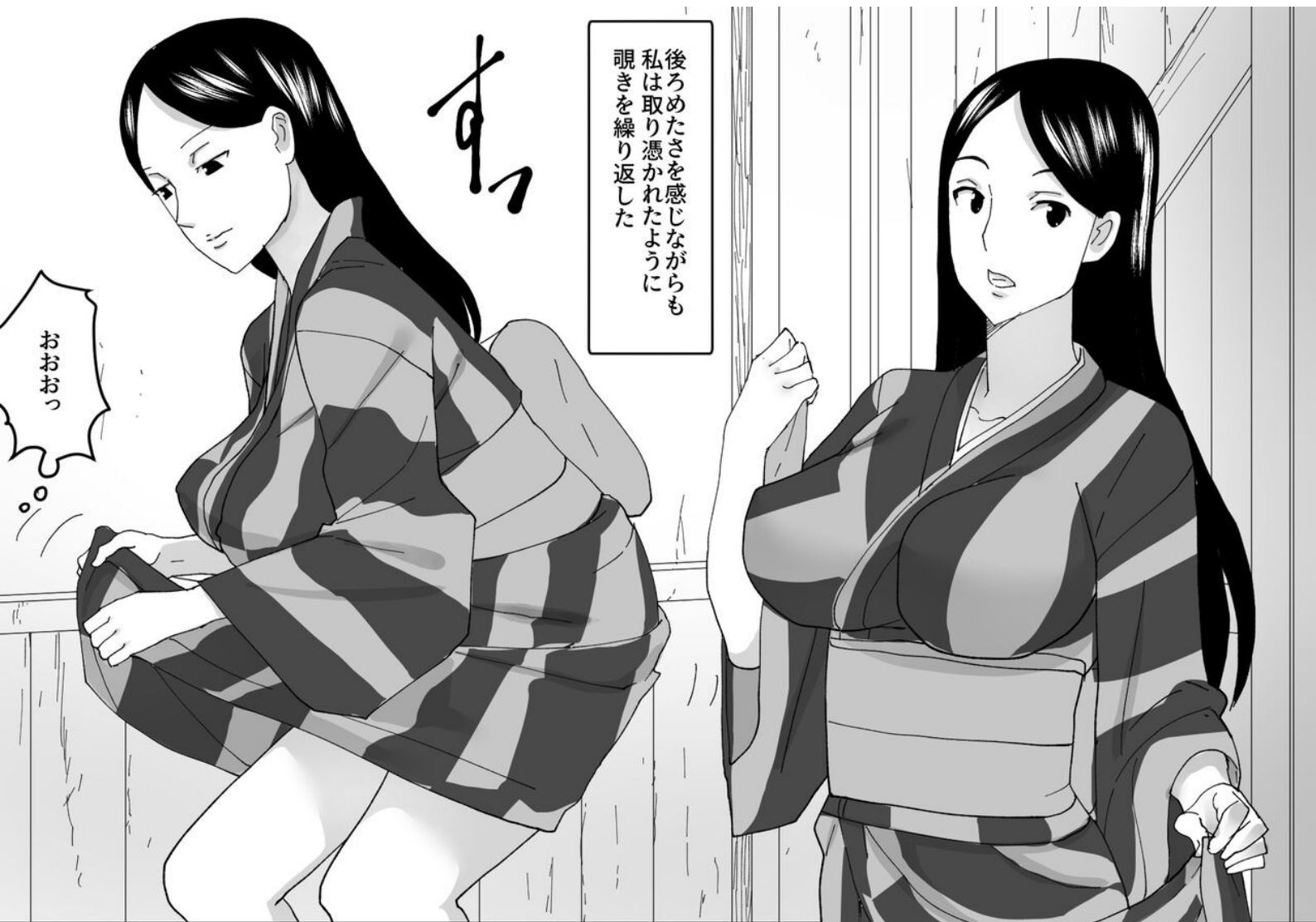
この便所は習い事に来る
子女専用で建て増し
されたものだった

待っているだけで
獲物が向こうからやってくる

立て続けに
いろんな女の股間が
拝み放題だ

なので覗く若い女
には事欠かなかった

時に順番待ちの列が
できるほど





初めは尿に濡れないように
注意を払っていた

しかし女性器を間近で覗くことに
夢中になり過ぎ

次第に女性の尿をかぶることに
頓着しなくなっていた

日に何人もの小便をかぶり
自分の衣服が強烈な悪臭を
放つこともあった



この子は
隣の家の娘さん

すっ

汚さないように
裾をまくり腹に抱える

まだ小さい時から
知っている娘の
便所を覗き見る

シヤ

小さかった子が
立派な女になったのを
確認できた

パヤ

控えめで桃色の
陰唇に小さい肛門
少女らしい作りだ

パヤ

パヤ

パヤ

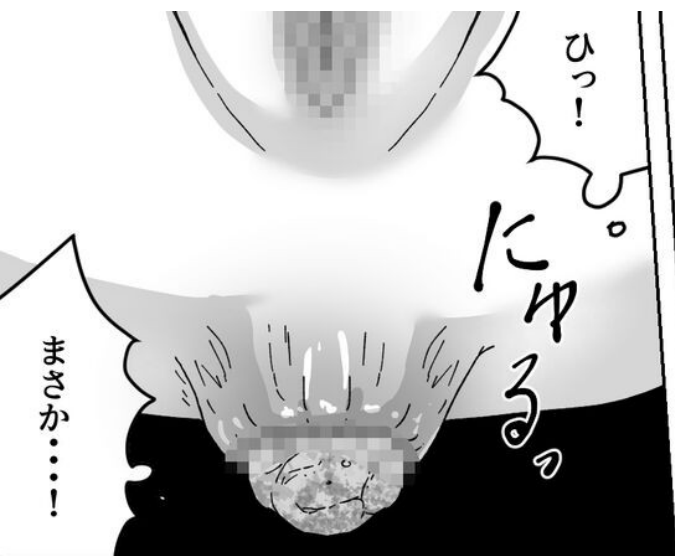
他所の家の娘の成長を間近で
確認できる嬉しさよ

キョ











いざ現実を目の前にすると
頭が混乱する

こんな可愛らしい人が…
うんこするなんて…!!

なにかの間違いだ
富美子さんが脱糞なんて
するわけない!

本物のウンコだー!!
ひいひいひいひい!!



ぶっ……!
糞が顔の上に乗った!

ビャッ!

にゅるん

おええええっ
吐き気がっ!



富美子さんの性器が見たい!
でもウンコが邪魔……

ビャッ

ぐううっ
気を許したら悲鳴を
上げて気絶しそうだ

いかに富美子さんの
ものとはいえウンコは
勘弁してくれっ

ぐううううっ
くさいいいい!
助けてくれえええ!

ビャッ

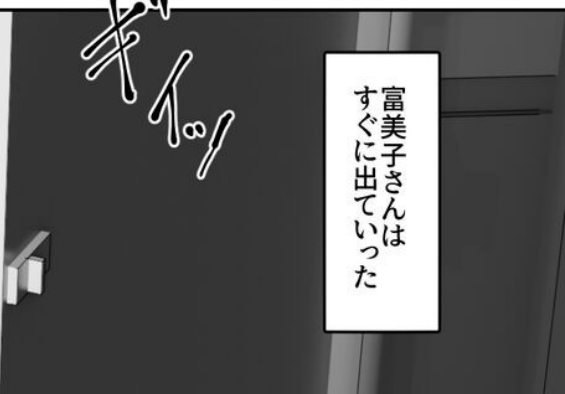
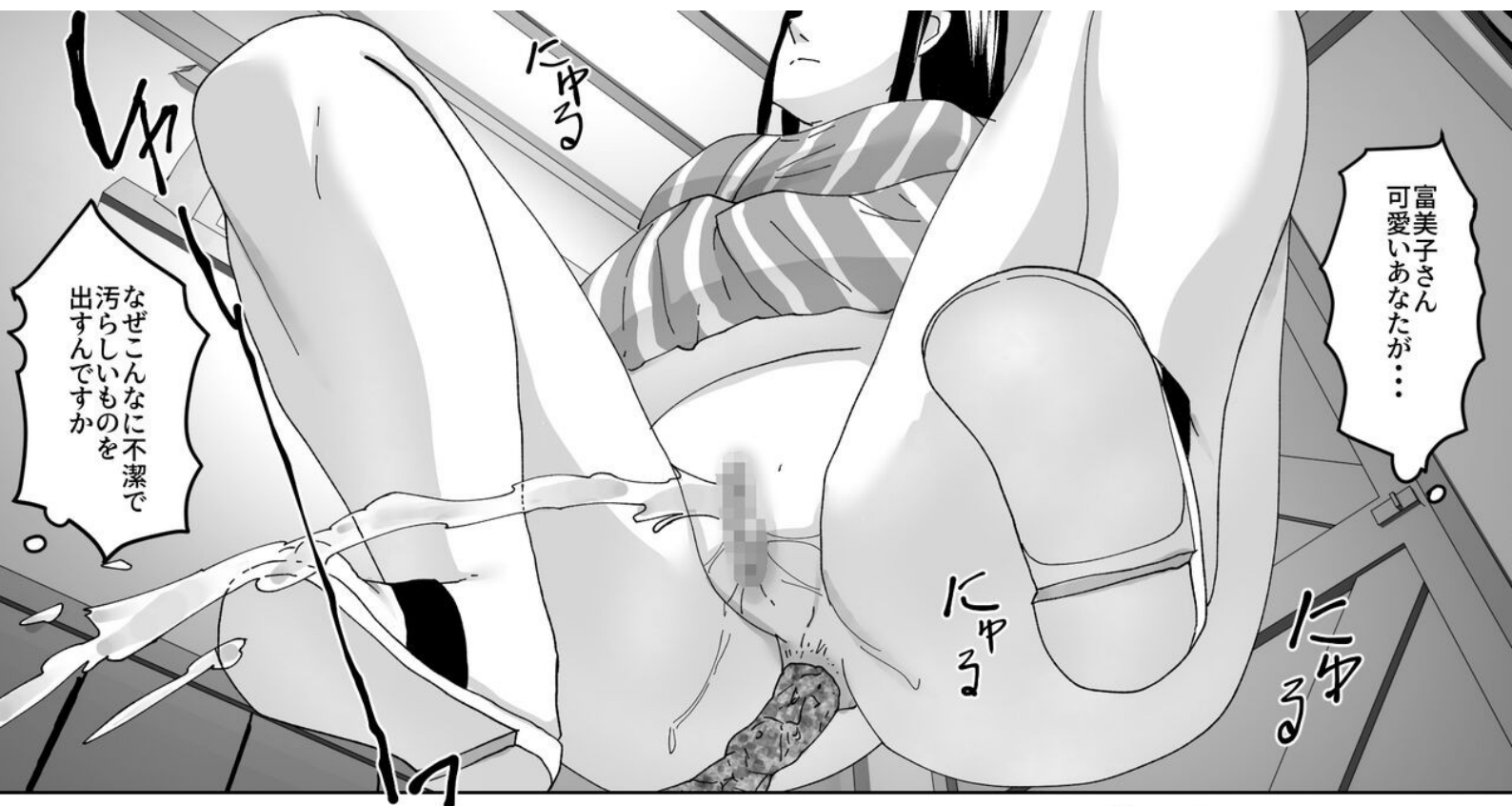
ビャッ

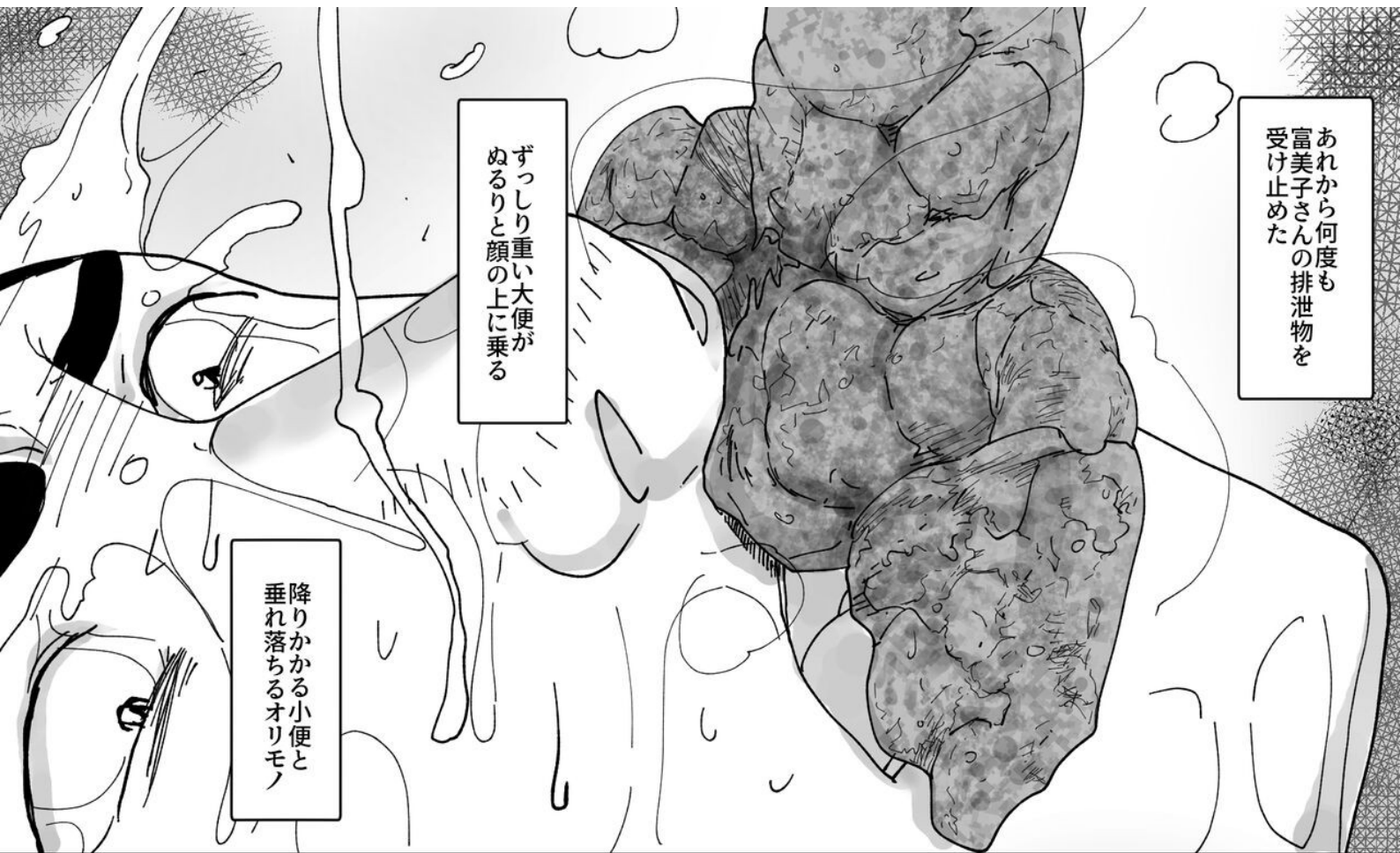
ビャッ

ビャッ

ビャッ

ビャッ

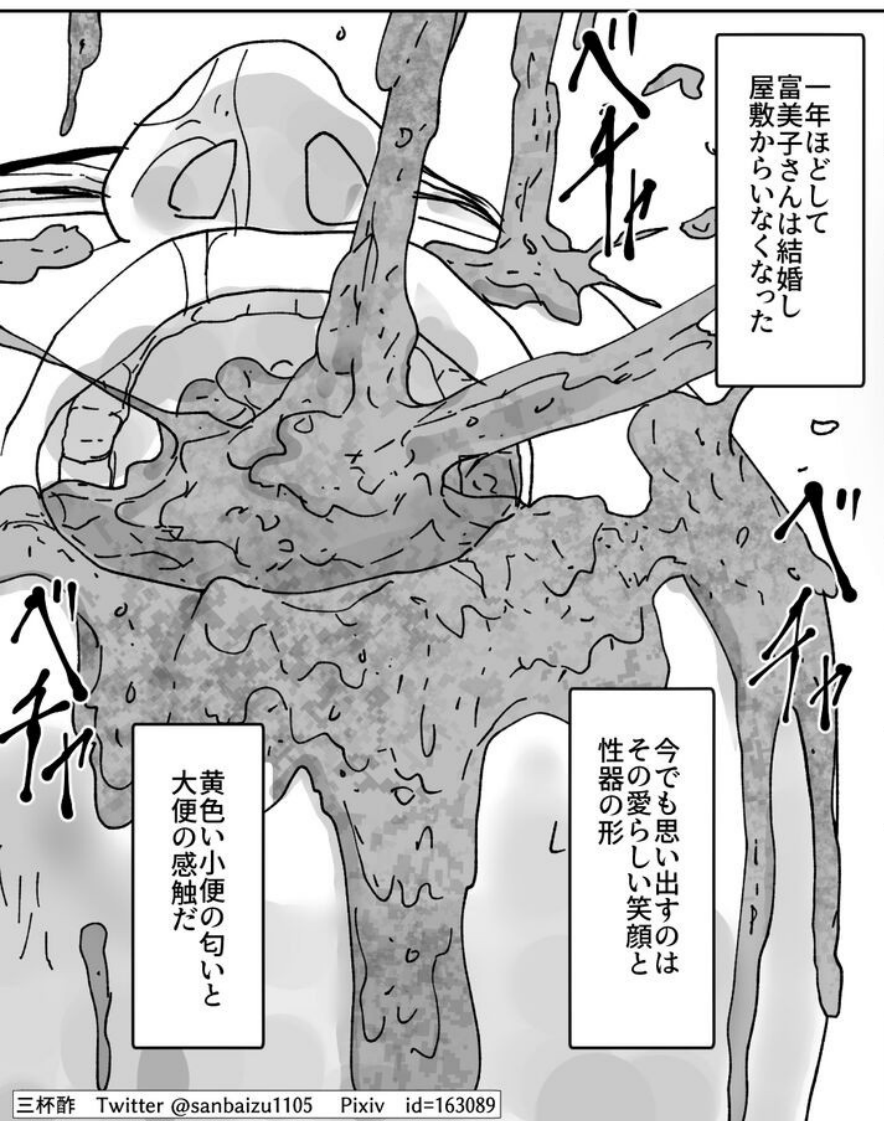




あれから何度も
富美子さんの排泄物を
受け止めた

ずっしり重い大便が
ぬるりと顔の上に乗る

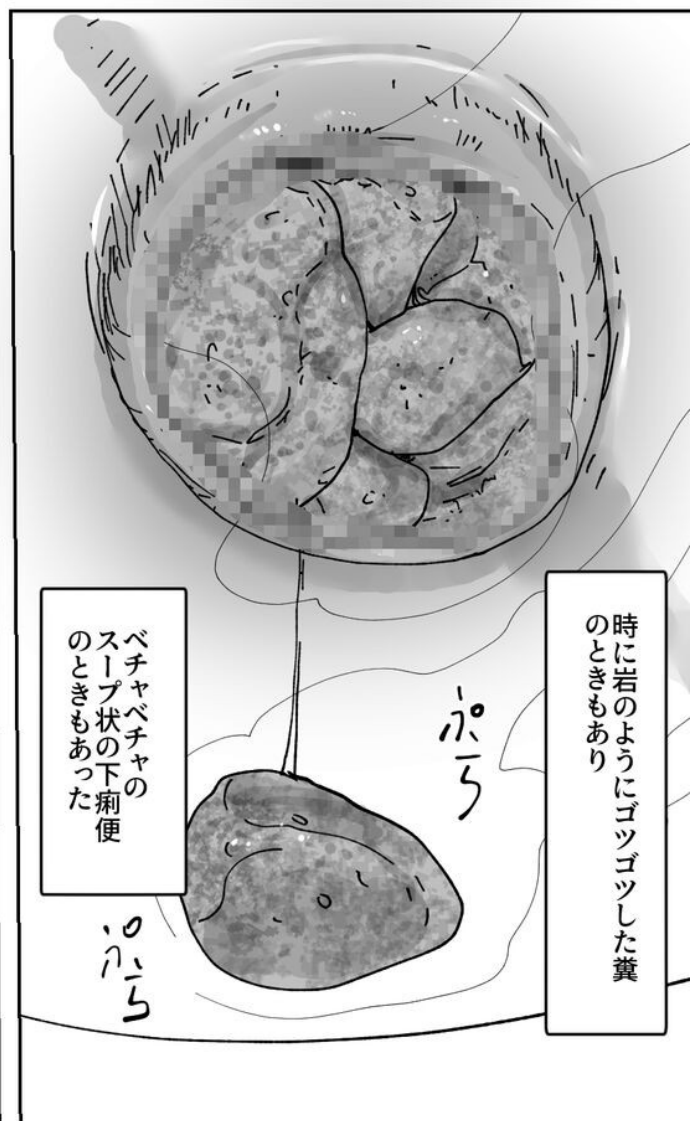
降りかかる小便と
垂れ落ちるオリモノ



一年ほどして
富美子さんは結婚し
屋敷からいなくなった

今でも思い出すのは
その愛らしい笑顔と
性器の形

黄色い小便の匂いと
大便の感触だ



時に岩のようにゴツゴツした糞
のときもあり

ベチャベチャの
スーパ状の下痢便
のときもあった

ぽろ
ぽろ